

4月、3月まで保育園や幼稚園に通っていた子どもたちが、小学校に入学する時期です。小学校に入学すると、登下校を含め一人で行動する機会が多くなります。そのため歩行中の交通事故や、子どもをねらった犯罪に巻き込まれる恐れがあります。子どもと一緒に、交通ルールや防犯について考えてみましょう。



市民部防災交通課 995-1817  
裾野警察署 995-0110



## 歩行中の交通事故防止

子どもが交通事故にあうケースの多くは、飛び出しや信号無視、安全確認不足などが原因となっています。実際に親子で一緒に通学路を歩き、横断が必要な場所や飛び出しの危険がある場所などをチェックしてみましょう。

### 【道路の歩き方】

- 歩道を歩く。歩道のない道路では道路の右端を歩く。
- 道路では遊ばない。
- ふざけたりして車道に飛び出さない。
- 友達と一緒に歩くときは横に並んで歩かないで、一列になって歩く。
- 縁石の上を歩かない。



### 【道路の横断の方法】

#### 信号機のない道路の横断

- 道路の反対側に渡るときはいったんしっかり止まって、右手をドライバーから見えるように高くあげ、右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が来ていないことを確かめてから、まっすぐに渡る。
- 車が止まったら、ほかの車にも注意し、安全を確認してから横断する。
- 近くに横断歩道があるところでは、横断歩道を渡る。

### 【歩行者用信号機のある横断歩道では】

- 横断歩道の手前で止まる
- 信号機のボタンを押す
- 信号の約束



「青色」 渡ることができる。

「青色の点滅」 渡りはじめてはいけない。ただし横断歩道の半分以上進んでいたらいいので渡り、そうでなければ戻る。

「赤色」 渡ることができない。

## ドライバーの方へ

### 【飛び出しに注意】

子どもの交通事故の原因の一つに道路への飛び出しがあります。ドライバーは見通しの悪い交差点や道路を歩いている子どもの動きに十分注意しましょう。

### 【シートベルトの着用】

シートベルトは必ずすべての座席で正しく着用しましょう。シートベルトは万が一の事故の時、あなたの大切な命を守ります。また、6歳未満の子どもを同乗させる場合は、チャイルドシートなどの着用が義務付けられています。6歳以上であっても身長が135cmから140cmになるまでは、子供の安全のためチャイルドシートなどの着用をするようにしましょう。

## 防犯にも気をつけましょう

交通事故以外の心配ごととしてあげられるのが子どもの連れ去りや声かけなどの事件です。死角が多く人目につきにくい場所では子どもが犯罪に巻き込まれる恐れがあります。

### ●こんな場所に気をつけよう

- 高い塀や植栽などで見通しの悪い通り
- 樹木が多く、外から見渡せない公園や空き地
- 駐車場や駐輪場

### ●知らない人に声をかけられたら「いかのおすし」を思い出しましょう

#### 「いか」 いかない

知らない人についていかない。あぶないところにいかない。

#### 「の」 のらない

知らない人の車に乗らない。

#### 「お」 おおごえをだす

危ないと思ったら大きな声でさけぶ

#### 「す」 すぐにげる

#### 「し」 しらせる

近くの人や警察、家の人、学校に知らせる